

平成19年度 安曇野市人権教育推進委員会

1	審議会名	平成19年度安曇野市人権教育推進委員会
2	日 時	平成20年3月6日(木) 午後7時00分～8時40分まで
3	会 場	穂高会館 講堂
4	出席者	92人(178人中)
5	市側出席者	望月教育長、松枝社会教育課長、高橋係長、青柳主査、吉田社会教育指導員、宮下社会教育指導員、林社会教育指導員、西中社会教育指導員、腰原社会教育指導員
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成20年4月3日
協 議 事 項 等		
1	会議の概要	(1) 開 会 (松枝社会教育課長) (2) 推進委員会会長あいさつ (松島副会長) (3) 教育委員会あいさつ(望月教育長) (4) 協議 ① 平成19年度安曇野市人権教育推進事業報告 ② 平成20年度安曇野市人権教育推進事業計画(案)について ③ その他 (5) 閉会
2	協議概要	(1) 平成19年度安曇野市人権教育推進事業報告について説明(事務局) ① 19年度から各地区公民館に20,000円の人権活動のための補助金を含めた地区公民館活動補助金が交付された。 ② 豊科地域で行われてきた学社連携事業を他地域にも呼びかけて、全市的に取り組めるよう検討・実施した。 ③ 堀金地域で計画された指導者養成講座に、他地域の委員にも呼びかけて全市的に行った。 ④ 指導員の研修は実現できなかったが、各地域での学習会等で活躍いただいた。  (2) 計画にあったができなかった事業 ① 人権に関わりの深い特定の職業従事者を対象とする研修 ② 人権教育指導員研修 ③ 企業人権教育推進協議会の立ち上げ ④ 学校人権教育推進協議会の立ち上げ  (3) 今後への課題 ① 「安曇野市人権教育・啓発推進計画」の関係各機関への周知徹底を図り、諸機関が相互に連携をとり効果的な人権教育の推進を図る。 ② 人権に関わる民間団体との連携を深め、相互協力体制を作る。 ③ 地域、学校、企業等の実践状況を十分把握し、計画推進上の問題点を明らかにして、その改善を続けていく。 ④ 人権教育指導員が全市的規模で充分に活躍できる体制作りを進める。 ⑤ 人権に関わって、市民がおかれている状況の把握に努め、市民が求める人権教育の推進を図る。 ⑥ 今年度できなかった事業計画の実施。
	質疑	なし
	地域別の事業報告	
	(4) 平成20年度安曇野市人権教育推進計画	安曇野市人権教育・啓発推進体制の説明のあと ① 学校人権教育推進協議会の立ち上げ ② 企業人権推進協議会の立ち上げ ③ 安曇野市人権教育指導員の明確な位置づけ

#### ④ 地区人権推進協議会事業の強化

##### 質疑（意見）

- ・講演会に参加した人がいい話を聞いたというのは、人権教育でいえば動機付けにすぎず、大切なことは実践である。下鳥羽公民館では、あいさつがお互いを尊重する重要な行動であると位置づけ、あいさつ運動を実施した。
- ・仕事で学校に行くこともあるが、学校の先生があいさつをしない。学校でも、先生が子どもにあいさつを指導してもらいたい。
- ・今年度の反省のところにできなかった事業として指導員研修があがっているので、20年度の事業計画の中に入れておいたほうがいいのではないか。
- ・事業計画として4項目上げられているが、協議会の立ち上げは事業計画ではないのではないか。また、人権教育指導員の明確な位置づけとあるが、位置づけした上で何をするかが事業計画ではないか。目的だけでなく具体的なものを上げてもらいたい。
- ・学校人権教育の推進が上げられているが、それぞれの学校で各地域の人々への人権教育の場は提供している。それよりも、大人の社会が子どもたちに人権教育を教えなければならないのではないか。市全体で取り組む体制づくりが必要ではないか。

##### 各地域の学校人権教育の事業報告

##### 議長

子どもだけでなく、大人も実践し取り組んでいただきたい。また、19年度の反省にたち、先ほどの意見も受け止めていただいて、20年度実施していただきたい。